

高知県における平成19年7月分の電力需給状況

< 需 要 >

- ・販売電力量計では、4億0千9百万kWh時、対前年比98.3%となった。

(表-1, 図-1)

[需要の内訳]

- ・家庭用などの「電灯」は、7月の気温が前年に比べ低めに推移し、冷房需要が減少したことなどから、対前年比97.9%となった。
- ・事務所ビル・大型商店などの「業務用」についても、電灯と同様の気温要因などから、対前年比98.3%となった。
- ・産業用の「大口電力」は、紙パルプ、鉄鋼、化学などが前年を上回ったことから、対前年比102.8%となった。

(表-1)

(表-2, 図-2)

< 供 給 >

- ・月平均の全社自流式出水率は、119.3%。
(上旬116.3%, 中旬140.4%, 下旬101.7%)
- ・月末の全社貯水池保有量は、1億7千6百万kWh時で満水比72.1%。

(表-1) 需要実績

[百万kWh, %]

		高 知 県				全 社 計			
		当 月		累 計		当 月		累 計	
		電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	142	97.9	547	98.3	702	99.0	2,793	98.6
	電 力	36	94.9	132	95.6	173	97.0	624	96.2
	計	178	97.3	679	97.8	875	98.6	3,417	98.2
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	121	98.3	398	101.7	627	98.6	2,074	101.7
	産業用電力	110	100.1	417	100.1	931	101.9	3,601	102.3
	(再掲)大口電力	(71)	(102.8)	(276)	(102.2)	(707)	(103.8)	(2,792)	(103.9)
	特定規模計	231	99.2	815	100.9	1,558	100.6	5,675	102.1
販売電力量計		409	98.3	1,494	99.5	2,433	99.9	9,092	100.6

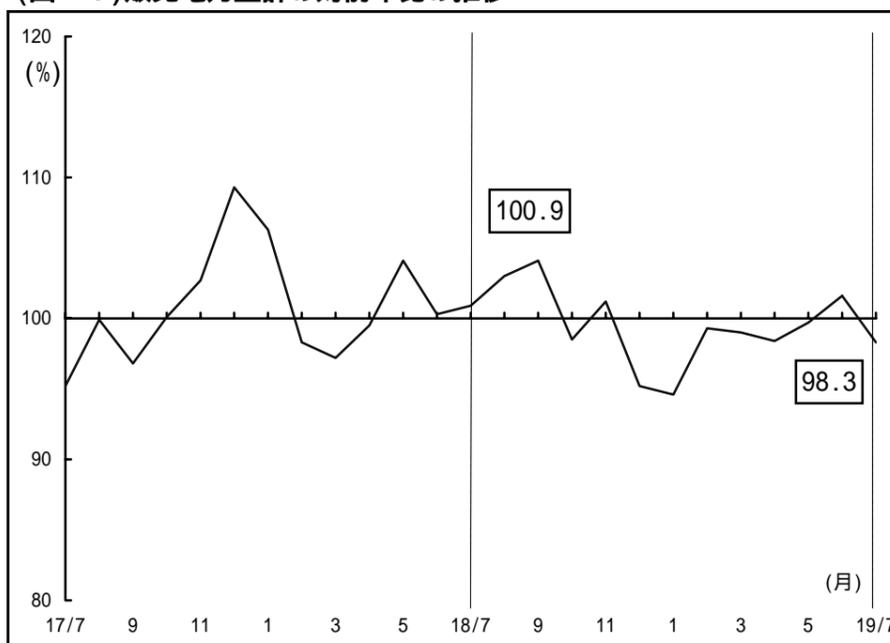
(注1) 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。

(表-2) 大口の産業別内訳

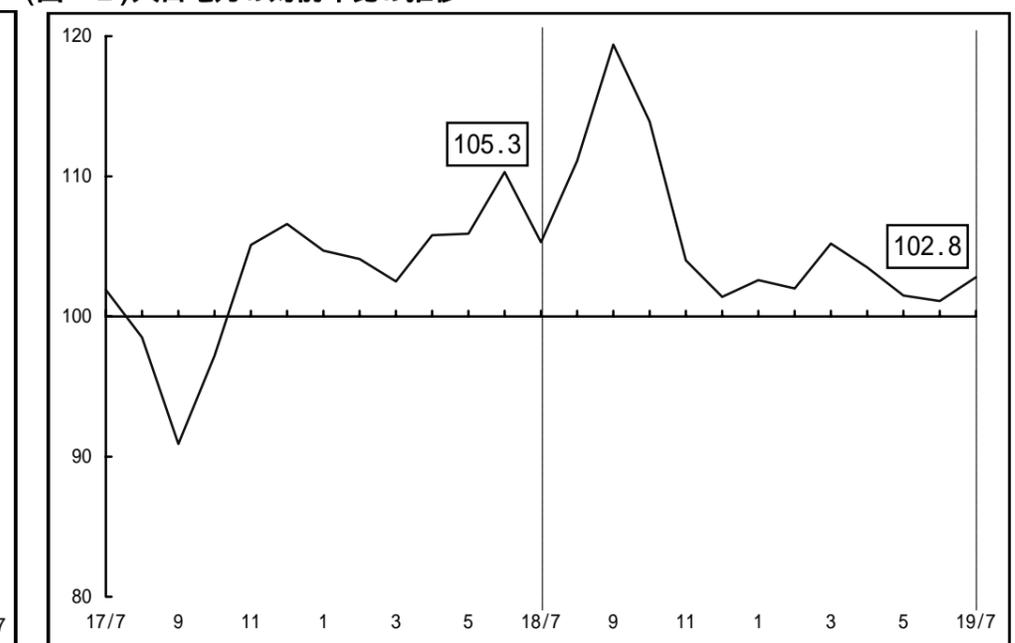
[百万kWh, %]

	当 月		累 計	
	電力量	前年比	電力量	前年比
機 械	26.6	99.0	98.9	99.4
化 学	11.2	103.9	48.8	96.2
紙パルプ	12.4	108.2	46.8	106.2
鋳 業	3.0	91.0	12.4	96.4
織 維	2.6	89.8	10.0	99.1
鉄 鋼	3.2	123.4	11.5	115.2
そ の 他	12.4	107.2	48.0	111.3
計	71.4	102.8	276.4	102.2

(図-1) 販売電力量計の対前年比の推移



(図-2) 大口電力の対前年比の推移



< 参考 > 高知市内の平均気温

()

	6 月				7 月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実 績	21.3	22.8	26.1	23.4	24.7	25.5	27.9	26.1
平年差	0.4	0.2	2.4	0.7	0.6	1.1	0.6	0.3
前年差	0.9	0.7	1.7	0.0	1.5	2.4	0.1	1.2